

学校と家庭・地域をつなぐ学校だより

はぐくみ



令和3年
9月21日
第16号
松葉小学校



8/21(土) 大盛況! 松葉サマーフェスタ2021

コロナウイルス感染症の影響により、昨年度は「わくわくサマーホリデー」の開催を見送りました。本年度も実施が危ぶまれていましたが、PTA運営委員会での話し合いを通して例年とは違う形式で実施するという事になりました。名称も「松葉サマーフェスタ2021」と変更し、教室や特別教室、体育館等で行いました。

松葉校区自治会や野田・菰口町自治会からも協力をいただき、各コーナーの必要物品や子どもたちのための景品を準備することができました。

当日は密を避けるため、奇数・偶数学年に分け二部制で行いました。各ブースをPTA役員や委員、お父さん隊、校区体育委員、松葉小職員、愛教大生や愛大生の学生ボランティアが担当し、スムーズに進行することができました。

参加した子どもたちからは「楽しかった」「夏休みのよい思い出ができた」と感想を聞くことができ、とてもよい催し物になりました。関わっていただいた関係者の皆様、本当にありがとうございました。



前校長 島内先生から 子どもたちへ、校区の皆様へ

平成29年度から令和元年度まで校長を務めた島内先生から、松葉小学校に図鑑の寄付と校区の皆様へのメッセージをいただきました。ご退職をお祝いする機会がなかったため、有志を募り記念品を贈呈したお返しとして何がよいか思案され、図書館主任と相談のうえ、シリーズでそろえることが難しい図鑑一式を送っていただきました。校区のかたへのメッセージを裏面に載せましたので、ご一読いただければと思います。

松葉のみなさま

すっかりご無沙汰しております。任を退いてから、2年目の夏となりました。在職中には大変お世話になりました。そのご恩は計り知れず、にもかかわらず、直接ごあいさつすることもなく学校を去ることとなりました。「なんでこのタイミングでコロナなんだ!!」心の準備もないままに、松葉っ子や保護者、校区のみなさま等のお別れを強いられたあの時を思うと、今でも無念でなりません。悔しさがこみ上げてきます。心の整頓がつかないままに始まった迷い迷いの第二の人生では環境の変化になかなか順応できず、ごあいさつがこんなに遅くなってしまったことをお許しください。

現在私は、藤ノ花女子高等学校に勤務し、数学の授業を担当しております。フルタイムではありませんが、新たな校種での教育活動に心を動かされながら、ぼちぼちやっております。また、自宅では小中学生の算数・数学を指導したり、近所の中学校での授業支援ボランティアにも手を挙げたりと、自分の居場所を広げつつあります。

さて、私の退職にあたり、過日みなさま方からいただいたあたたかなお心づかいに心から感謝申し上げます。思いもよらないことで、びっくりするやらうれしいやら…そして、無事に勤め上げられたことを思い、私を育ててくださった多くの方々への感謝の念にかられました。

38年の教員生活は、長いようであっという間でした。頭に浮かぶのは、楽しかった学校生活の場面ばかりですが、とりわけ松葉小学校での担任時代の思い出は強烈で、貴重な経験は私の生涯の宝物です。

〈米作り〉「おい島内、米作りは本物の田んぼでやらにゃあダメだぞ！」

5年主任だった私への校長先生のお言葉でした。松葉田んぼの初代として、草だらけの休耕田から必死の挑戦が始まりました。

とんでもないほどの草と戦い、「手作業でやれ！」の命に従い、気がつけばいつも田んぼにいました。それでも全校におにぎりを振る舞い、ふれあい市で店が出せるほどのお米がとれました。売り上げで鍬や肥料を購入し、次の学年に田んぼを委ねられた時には、子どもたちと大喜びしました。

〈校区防災訓練〉「サバイバル体験だ。訓練はリアルでなきゃいかん。」覚悟はしたものの、まさか体育館での宿泊訓練になるうとは！校庭に穴を掘り、トイレのセットをしました。泥水を何度も濾過してきれいな水にして、それを飲みました。ドライフードにお湯を注いで食べた夕食でおなかは満たされず、夜中空腹でした。暑くて硬くてかゆい体育館では寝られたものではなく、翌朝の運動時に見られた「魂の抜けた人々の行列」は、プフッと吹き出してしまう何とも言えない光景でした。

教員人生最後の3年間は、立場を変えて再び松葉小学校に勤務することができました。歴々の校長先生方の思いを継承せねばと、そのすべを模索しました。これまでを引き継ぎつつ、より時代に合った形にするための策を職員とともに探りました。そして、「松葉っ子ありき」で、保護者のみなさま、校区のみなさまのご協力のもと実践に務めました。しかしながら、もとより力足らずで、決して十分なことができたとは言えません。意に沿わないことがいくつもあったことでしょう。もっとやらなければならないことがいくつもあったはずです。みなさま方に抱かせてしまったご心配やご不満に対して、この場を借りて深くお詫びいたします。

教職最後の地が松葉小学校であったことは、本当に幸せでした。温かな地域で多くの人に囲まれて過ごせたラスト3年間は、決して忘れることのできない時間です。松葉の地で出会えたすべての方々に感謝の気持ちを伝えます。「ありがとうございました。」

お一人お一人にお会いして、直接お礼申し上げるべきところですが、紙面を通しての形になってしまうことをお許しください。また、本来みなさまにお返しすべきものを、松葉っ子に書籍を送ることに換えさせていただきますことをご理解いただけたら幸いです。

最後に、みなさま方の今後のご健康ご活躍を祈念いたします。またいつかお会いできる日を信じて…

令和3年8月吉日

島内三都子